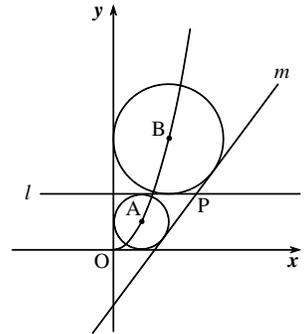


問題

右の図で、円 A、円 B の中心は放物線  $y = \frac{1}{3}x^2 (x > 0)$  上にあり、円 A は  $x$  軸、 $y$  軸および  $x$  軸に平行な直線  $l$  に接している、円 B は直線  $l$  と  $y$  軸に接している。また、2 つの円 A、円 B に共通な接線を直線  $m$  とする。次の各問いに答えよ。



- (1) 円 B の中心の座標を求めよ。
- (2) 直線  $l$  と直線  $m$  の交点を P とするとき、P の  $x$  座標を求めよ。
- (3) 直線  $m$  の式を求めよ。
- (4)  $y$  軸、直線  $m$  および円 A に接する円の半径を求めよ。ただし、中心の  $x$  座標、 $y$  座標はともに正とする。 (早稲田実業高)

解

- (1) 円 A の中心を点 A とし、 $x$  座標を  $a$  とすると、 $A(a, \frac{1}{3}a^2)$  と表せる。円 A は  $x$  軸および  $y$  軸に接しているため、点 A の  $x$  座標と  $y$  座標の値は等しくなる。よって、

$$a = \frac{1}{3}a^2 \quad a^2 = 3a \quad a(a-3) = 0 \quad a > 0 \text{ より、} a = 3$$

同様に、円 B の中心を点 B とし、点 B の  $x$  座標を  $b$  とすると、 $B(b, \frac{1}{3}b^2)$  と表せる。

ここで、点 B の  $y$  座標は、円 A の直径に円 B の半径  $b$  を加えた値と等しくなるので、

$$\frac{1}{3}b^2 = 6 + b \quad (b-6)(b+3) = 0 \quad b > 0 \text{ より、} b = 6 \quad \boxed{\text{答}} \quad (6, 12)$$

- (2) 「塾技 70」の鉄則に従い、下の図のように中心線および、中心と接点を結び各点を決める。

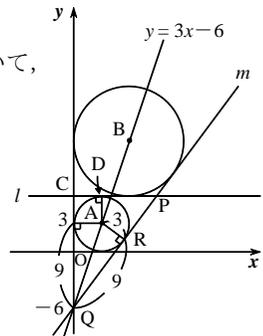
(1) より、 $A(3, 3)$ 、 $B(6, 12)$  となるので、 $AB : y = 3x - 6$  と求まる。

「塾技 67 (1)」より、 $PR = PD = x$  とおき、 $\triangle CQP$  で三平方の定理を用いて、

$$QP^2 = QC^2 + CP^2$$

$$(9+x)^2 = (9+3)^2 + (3+x)^2 \quad \text{これを解いて、} x = 6$$

よって、P の  $x$  座標は、 $CD + DP = 3 + 6 = 9$  答



- (3) (2) より、 $P(9, 6)$  を  $y = ax - 6$  に代入して、

$$6 = 9a - 6 \quad a = \frac{4}{3} \quad \boxed{\text{答}} \quad y = \frac{4}{3}x - 6$$

- (4) 円 A に接する円を  $B'$  とし、「塾技 70」の鉄則に従い下の図のように各点を決める。

$\triangle QAS$  に三平方の定理を用いて、

$$QA = \sqrt{9^2 + 3^2} = 3\sqrt{10}$$

求める円の半径を  $r$  とすると、 $\triangle QAS \sim \triangle QB'T$  より、

$$QA : QB' = AS : B'T$$

$$3\sqrt{10} : (3\sqrt{10} + 3 + r) = 3 : r$$

$$3r(\sqrt{10} - 1) = 9(\sqrt{10} + 1)$$

$$r = \frac{3(\sqrt{10} + 1)}{\sqrt{10} - 1}$$

「塾技 42」例題の  
分母の有理化

$$= \frac{3(\sqrt{10} + 1)^2}{(\sqrt{10} - 1)(\sqrt{10} + 1)} = \frac{11 + 2\sqrt{10}}{3} \quad \boxed{\text{答}}$$

